

最新刊

聖美幼稚園長  
東京人形劇研究所長

内山憲尚先生著

▲國策菊判▲定價二圓四十錢  
▲三百四十頁▲送料十六錢

# 紙芝居精義

幼児の保育には、眼から入れる紙芝居の利用がきんに毎日の保育を助けてくれることである。本書は、保姆さんの爲には、特に繪本から簡單に作るやり方まで書かれてある最も親切な本です。各幼稚園に一冊は必備の良書です。

容内

▲紙芝居の歴史  
▲紙芝居業者の組織と内容  
▲紙芝居の原理  
▲紙芝居の教育的價值と利用法  
▲紙芝居の製作  
▲例話二篇

版八 幼稚園保育法真諦  
東京女高師教授 倉橋惣三先生著  
四六判二九頁 價二圓八十錢 送料十六錢

版十二 幼稚園の理論及實際  
奈良女高師教授 附屬幼稚園主事 森川正雄先生著  
菊判三一八頁 價三圓五十錢 送料十六錢

版五 日本幼稚園史  
東京女高師教授 倉橋惣三先生・新庄よしこ先生共著  
菊判四六〇頁 價三圓八十錢 送料十八錢

版十 保姆教育學  
奈良女高師教授 附屬幼稚園主事 森川正雄先生著  
菊判二八一頁 價三圓 送料十六錢

版五 幼稚園保育の諸問題  
東京女高師附小主事 堀七藏先生著  
四六判四三〇頁 價二圓八十錢 送料十六錢

版八 幼稚園兒法  
奈良女高師教授 附屬幼稚園主事 森川正雄先生著  
菊判一七五頁 價二圓二十錢 送料十二錢

版五 兒童話の話方と實例  
東京女高師教授 倉橋惣三先生序・内山憲尚先生著  
菊判三八〇頁 價二圓八十錢 送料十六錢

版八 幼稚園の經營  
奈良女高師教授 附屬幼稚園主事 森川正雄先生著  
四六判三八八頁 價三圓 送料十六錢

東大 東阪 東洋圖書株式會社發兌

東京市神田區保町一丁目七六番地【替振】東京一〇三七番  
大阪市南區安堂寺一丁目二八番地【替振】大阪三九五六番



# 幼兒童話及幼兒唱歌募集

—フレイベル賞による懸賞募集—

先年株式會社フレイベル館高市社長より同館創業三十周年記念として、保育資金一千五百圓を全國保育界に對して提供せられ、その使途につき本會に委託せられましたことは度々本誌上に御報告申上げた通りであります。よつて本會はそのため特に實行委員諸氏を御委嘱し、協議の上、童話手技等の懸賞募集を行ひ來り、いづれも好成績を舉げましたことも御承知頂いてゐるご存じます。今回は更に募集範圍を擴大して、幼稚園の方々の外、小學校教育御關係の方々にも御應募を乞ふことゝしました。廣く多數の優秀作品を得たいと期待して居ります。左の規定により盛に御應募下さるやう願ひます。

## (一) 童話募集規定

應募作は幼兒に適する童話たること。

主題、内容、長短は隨意。

幼稚園、託兒所保母諸君及び小學校教員諸君の自作たること。(舊作にてもよろし)

應募篇數任意。お一人にて兩方に應募せらるゝこと素より任意。

原稿紙にペン書のこと。

應募者は宿所、氏名(誌上匿名隨意)及び奉職園校の名稱、所在地を明記のこと。

日本幼稚園協會(東京市小石川區東京女子高等師範學校附屬幼稚園内)童話募集掛宛のこと。

締切 昭和十五年二月末日

發表 昭和十五年六月一日日本會發行之「幼兒の教育」誌上。

入選作は本誌に掲載し、賞狀及賞金を贈呈します。

フレイベル賞  
一等一名金參拾圓 二等一名金貳拾圓 三等一名金拾圓 選外佳作若干名(賞品贈呈)

審査 (五十音順)

小川未明氏 及川ふみ氏 岸邊福雄氏 倉橋惣三氏 葛原 齒氏 久留島武彦氏

原稿は一切返却しません。

尙御不明の點は往復はがきで本會童話募集掛宛お問合せ下さい。

## (二) 幼兒唱歌募集規定

應募作は幼兒にうたはせるに適するものたること。

主題、内容、長短は隨意。

幼稚園、託兒所保姆諸君及び小學校教員諸君の自作たること。(舊作にてもよろし)

應募篇數任意。お一人にて兩方に應募せらるゝこと素より任意。

原稿紙にペン書のこと。

應募者は宿所、氏名(誌上匿名隨意)及び奉職園校の名稱、所在地を明記のこと。

日本幼稚園協會(東京市小石川區東京女子高等師範學校附屬幼稚園内)幼兒唱歌募集掛宛のこと。

締切 昭和十五年二月末日

發表 昭和十五年六月一日日本會發行之「幼兒の教育」誌上。

入選作は本誌に掲載し、賞狀及賞金を贈呈します。

フレイベル賞

一等一名金參拾圓 二等一名金貳拾圓 三等一名金拾圓 選外佳作若干名(賞品贈呈)

審査 (五十音順)

小川未明氏 及川ふみ氏 岸邊福雄氏 倉橋惣三氏 葛原 齒氏 久留島武彦氏

原稿は一切返却しません。

尙御不明の點は往復はがきで本會幼兒唱歌募集掛宛お問合せ下さい。

昭和十四年十一月

東京市小石川區東京女子高等師範學校附屬幼稚園内

# 日本幼稚園協會

(最新刊)

子供の家學園々長 高島 巖 著

法學博士・男爵 穂積 重遠 序

この書は「歌はしてよ」や「辻占賣り」など不幸な少女達を收容し、保護更生に献身する高島先生の涙と力の第一回報告書である。不幸な彼等子供たちは、もう被虐待兒童ではない。太陽の子だ！ 日本の子だ！

# 歌ふ

## 虐められる 子の更生報告書

厚生省  
児童課長 伊藤 清

非常時下、児童保護の最も重要視せられねばならぬ  
秋 本書の上梓を見たことは、局に當るものとして、  
誠に喜びに堪へない。社會事業に携る方々に特に一讀を薦む。

# 子供たち

四六判 三三〇頁

價 一・三〇  
(送・一〇)

東京芝村田町一ノ三  
振替東京二九九三

萬里閣